

日野第五小学校「メディアコーディネーター(MC)週間」

日野第五小学校では昨年度に引き続き、「メディアコーディネーター(MC)週間」が実施され、全学級のICT活用授業でメディアコーディネーターが支援に入らせていただきました。

2年生 3年生(1組) 4年生 5年生 6年生… 主に算数「インタラクティブスタディ」

★今年は全てのクラスが「ひとりでスタディ」での学習を体験しました。
「インタラクティブスタディ」の授業が初めての先生には以下を確認させていただきました。

「インタラクティブスタディ」とは…

○基礎基本の完全習得学習

- 単なる繰り返し学習ではない。
- 得意なところと苦手なところをコンピュータが学習履歴をもとに診断し、学習者に適した補充や発展的な課題に取り組める。
⇒自分のペースで納得できるまで、主体的に学習課題に取り組める。
- 単元のまとめで1時間活用するだけでも学習効果がある。

○学習履歴による的確な個別指導・個別学習

- 学習者一人ひとりの学習履歴が詳細に残る。
⇒先生) クラス全体の理解状況や学習者個々の学習履歴を分析し、指導に生かせる。
- ⇒学習者) 自分の苦手な部分に気づくことができ、学習に生かせる。

<みんなでスタディ>

- クラス単位で授業中に使う(クラス全員が同じ時間に同じ教材から始める)。
- 先生は、授業中に学習者の学習進度、理解状態などをリアルタイムで確認できる。
⇒支援が必要な学習者のつまずきをその場で指導することができる。
- あらかじめ、授業をされる先生が教材登録しておく。
⇒最初はクラス全員が同じ教材に取り組む。

設定された教材を始める状態になるので、学習者が教材を選ぶ必要はない。

- 教材が早く終わった学習者のために、その他の教材も複数登録しておくことができる。

<ひとりでスタディ>(今年度から、「ひとりでスタディ」でも学習履歴が残るようになった)

- 学習者がひとりずつ自分で教材を選んで学習をする。 ⇒補習などでの活用に最適。

POINT!・学習ではノートをきちんと使う ⇒あてすっぽうで解答したりすると、その学習者の理解状態に応じた適切な補充問題が出されず、学習効果が上がらない。

同じ教材でも、学習者によって出される問題や学習の流れが違います



ID・パスワードが書かれた「スタディパスポート」は大切なものと先生から説明を受けます



マウスがうまく使えない低学年はタッチでもOK!



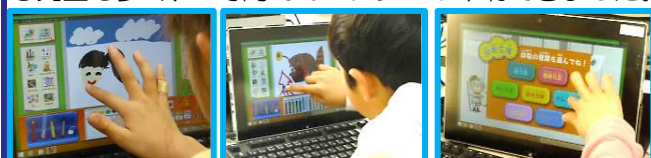
ノートでしっかり計算してから答えを入力



集中して課題に取り組む2年生

1年生… 総合「デジ・ピクチャーキッズ2」

★4組の児童以外はタブレットPC初体験でしたので、まず電源の入れ方を先生から説明された後「デジ・ピクチャーキッズ2」を使って主に指でお絵かきをしました。昨年までは、1年生が初めてタブレットPCを使うときはマウス練習のゲームをしていましたが「せっかくのタブレットPCですから、今年度はマウス練習ではなく作品作りから始めませんか」と提案させていただきました。子供たちは初めてのPCの授業でもお絵かきを堪能し、2回目の授業では自分で描いた絵をカレンダーにして印刷しました。状況に応じてマウスに慣れるのは3年生くらいからでよいと思います。4組はPC操作に慣れていてマウスを使える児童も多く、1時間でカレンダーが印刷できました。



指で上手に絵を描きます。印刷のメニューもタッチでOK!

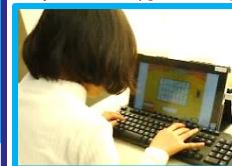


オリジナルカレンダー完成!

3年生(2・3組)

… 国語「キーボード練習」

★2・3組は「ローマ字の復習」で、「ジャストスマイル」のキーボード練習機能を使いました。ゲーム形式なので、児童は夢中になってキーボードでローマ字入力をしていました。3組はパワーポイント画面での文字入力もやりました。国語のローマ字学習とキーボード入力とは深く関係していますし、3年生から徐々にキーボード入力のスピードと正確さが必要になってきます。ぜひ国語とあわせての取り組みをお願いします。



3年生から徐々にキーボード入力のスピードと正確さが必要になってきます。ぜひ国語とあわせての取り組みをお願いします。

★メディアコーディネーターより: 多くのクラスで実施された「インタラクティブスタディ」の授業では「えー、もう終わり!?!」「もっとやりたい!」と声上がるほど、低学年でも集中して課題に取り組めた児童が多く、先生方も「今後は学習履歴を活かしながら活用したい」と話されていました。「インタラクティブスタディ」は、学習内容の理解と定着に直結するシステムですので、MC週間が今後の活用のきっかけになればとても嬉しく思います。